

一般質問通告書(平成 26 年 12 月定例会)

氏 名・質問事項・答弁先	質 問 要 旨
<p>1 3番 村上 和子</p> <p>1 人口減少時代に対応した町独自の支援事業の展開を (町 長)</p>	<p>(1) ライフスタイルの多様化により、男女ともに独身で居続けることに対する抵抗が弱くなり、晩婚化の傾向にある。また、結婚をしない選択をする男女も増えており、これらの独身者に対して「出会いの場」を創出し、婚活を促すためにも「街コン」を実施しては。</p> <p>(2) 日本創成会議の発表によると、2010 年から 2040 年にかけて道内の 147 市町村で子どもを産む中心世代の 20 から 39 歳の女性が 5 割以上減ると予測された。人口が減ると税収が減り、公共サービスや社会インフラの水準が低下する恐れがある。また、上富良野町の合計特殊出生率は 1.66 人 (H24 年現在) であり、北海道では 13 位となっている。5 年後の計画も上昇する見込みはなく、出生した第 1 子・第 2 子・第 3 子に対して出生祝い金を支給しては。</p> <p>(3) 晩婚化の影響から不妊に悩む夫婦が年々増えている。しかし、高度な不妊治療は医療保険が適用されず、高額な医療費がかかる。町独自の支援策として治療に要する費用の一部を助成しては。</p> <p>(4) 幼児期の学校教育や保育、地域の子ども・子育て支援を総合的に推進するため、子ども・子育て支援法などが改正された。町に子どもを預けられる施設や子育てに関する相談を一括して行える窓口を設置しては。</p>
<p>2 江幌小学校閉校後の利活用について (町 長) (教育長)</p>	<p>江幌・静修住民会では、利活用はしたいが住民会で維持管理等を行い、利活用していくには荷が重いという結論になった。この意見を行政としてどのように受け止め、考えていくのか。地域の核である小学校がなくなることは一抹の寂しさを覚え、周辺住民の思いをいかすためにも、行政側から維持管理等を行う人材を派遣し利活用できないか。</p>
<p>2 4番 米沢 義英</p> <p>1 福祉避難施設の指定について (町 長)</p>	<p>福祉避難施設とは、介護の必要な高齢者や障がい者など一般の避難施設では生活に支障を来す人に対して既存の建物を活用しケアが行われるなど、要支援者に配慮した避難所のこととされている。しかし、上富良野町では福祉避難施設の指定がされておらず、今後の対応を伺う。</p>
<p>2 ファミリーサポーターについて (町 長)</p>	<p>ファミリー・サポートセンターは、家庭の事情などにより子どもを一時的に預けなければならない時に利用できる会員制の組織である。利用料は 30 分を基本に設定されているため利用料が高く、利用者からは見直しを求める声がある。今後の対応を伺う。</p>
<p>3 中学生までの医療費の無料化と小児科の設置について (町 長)</p>	<p>上富良野町子ども・子育て支援事業計画策定のためのアンケート調査結果でも、中学生までの医療費の無料化と小児科の設置を求める声が多くあるが、今後の対応を伺う。</p>

<p>4 介護保険計画について (町 長)</p>	<p>第6期介護保険事業計画の策定がされているが、次の項目について伺う。 (1) 平成27年度の介護保険料は高くなることが予想されており、その見込み額は。また、介護保険料の抑制のためには一般会計からの繰り入れが必要では。 (2) 特別養護老人ホーム、グループホームなどの増床や新設が必要と考えるが。 (3) 独居、高齢者世帯への合同訪問調査を実施しているが、この計画に反映すべき課題は。</p>
<p>5 農業政策について (町 長)</p>	<p>第6次の農業振興計画の総括と評価を踏まえ、町の特色を活かした足腰の強い魅力ある農業の実現のために農業振興計画の策定をしたが、次の項目について伺う。 (1) 第6次農業振興計画の評価と次年度の計画に活かすべき課題について。 (2) 労働力確保のためにも後継者の育成及び新規就農者を受け入れる支援体制づくりが必要では。さらに、閉校した学校や空き家を活かし農業実習生や農業体験者を受け入れる施設の整備が必要では。 (3) 農業機械、施設などの共同利用の充実と促進が必要では。 (4) 女性農業者を育成するために一層の研修機会の充実と女性農業者のフォーラムなどを開催しては。</p>
<p>6 6次産業化について (町 長)</p>	<p>(1) 6次産業化は町においても取り組まれ、観光客などの宿泊施設として活用されている。また、ワインの加工や麦を使いパスタの加工と販売など農業者の新たな取り組みも始まっている。しかし、経営をするには農産物を加工販売するための資金繰りや許認可の申請をはじめ多くの課題がある。多くの人に上富良野町の自然や農業の魅力知ってもらうためにも、町の支援体制の強化が必要では。 (2) 町の農産物加工施設で観光客も加工が体験できる施設に発展させては。</p>
<p>3 1番 佐川 典子 1 胃がん予防（ピロリ菌除菌）について (町 長)</p>	<p>厚生労働省は、国保医療費の抑制や胃がんでの死亡率を減らすため、平成25年に「ヘリコバクター・ピロリ菌」の除菌薬も保険適用となった。この胃がん予防について死亡率の減少のための目標値や町民周知の施策、町の助成制度など今後の施策をどのように行うのか伺う。</p>
<p>2 高齢者や障がい者に優しい環境整備について (町 長)</p>	<p>平成25年に国の権限移譲に伴い、上富良野町高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に係る道路の構造等に関する条例が制定された。この中では乗合自動車停留所にはベンチ及び上屋を設けることとなっており、高齢者や障がい者が安全で安心して道路を利用できるような優しい街づくりが求められる。そのため、バス停だけではなく、雪のない時期だけでも買い物や病院に行くまでの各所にベンチを設置し、休みながら自分のペースで歩くことができるような配慮を考えてはどうか。</p>